



大河小だより

小川町立大河小学校
令和7年12月5日 第23号
文責 校長 宮澤 忍

～子供の豊かな成長を支え、地域とともに歩み続ける学校～

〒355-0327 比企郡小川町腰越209 Tel. 0493-72-0068

- 【学校教育目標】 ○ 自ら学ぶ子（知） ○ やさしい子（徳） ○ たくましい子（体）
【年間生活目標】 「あいさつを広げよう」 「健康な生活を心がけよう」
【12月の生活目標】 「1年の整理をしよう」

おがわ学に伴う授業公開にたくさんの方が参観してくださいました

11月21日（金）の2、3時間目におがわ学に伴う授業公開を行いました。保護者・地域の皆さんがたくさんご参観いただきました。お忙しい中、誠にありがとうございました。

3年生から6年生のおがわ学に関する授業公開の中で、5年生は脱穀後のわらを使い、「縄ない」を体験しました。いつもお世話になっている腰越1区の防犯パトロールの皆さんが指導と応援にかけつけてくださいました。

「縄ない」と聞くと、わらを両手で揉みこむようにして行う複雑な作業で、「農家の方の熟練の技」というイメージしかありませんでした。始まる前は、「果たして小学生に縄ないができるのだろうか…」と半信半疑でした。

はじめは、なかなかわらを思うように扱えませんでした。防犯パトロールの皆さんがついてくださり、懇切丁寧に指導してくださいました。ご指導のおかげで、作業の腕はどんどん上がり、最後には一人に一つずつ、わら細工が完成しました。

「大河小の子供たちは一生懸命で、もの覚えがいいわね。」

優しい防犯パトロールの皆さんに見守られ、子供たちはがんばりました。用意してくださった飾りつけを施し、オリジナルのリースが完成しました。

防犯パトロールの皆さんの豊富な知識と専門性、チームワークの良さには、いつも敬服いたします。子供たちはまた一つ、良い体験をさせていただきました。

今回も貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。



5年生の「縄ない」の様子



6年生の学習の様子



5年生の学習の様子



4年生の学習の様子



3年生の学習の様子

ヤングケアラーサポートクラスを開催しました

11月18日（火）に4年生・5年生・6年生を対象とした「ヤングケアラーサポートクラス」が行われました。ヤングケアラーとは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる18歳未満の子どもたち」のことを指し、国・地方公共団体等が各種支援に努めるべき対象となっています。講師として、埼玉県教育局人権教育課、ヤングケアラープロジェクト事務所の皆様にご来校いただきました。

今回の授業では、お手伝いとケアの違いを知り、ヤングケアラーの実際の生活をロールプレイで体験したり、かつてヤングケアラーだった方からの貴重なお話を聞いたりすることができました。また、小川町教育委員会、小川町役場子育て支援課やファミリーサポートや社会福祉協議会の皆様より温かい声かけをいただき、たくさんの大人に見守られていることを実感したようでした。子供たちは真剣な表情で話に耳を傾け、自分たちの生活と重ねながら、さまざまなことを感じ取っている様子でした。

授業の終わりには、積極的に質問をする児童の姿も見られ、感想発表では「話を聞けてよかった」「もっと知りたい」といった声が多くあがりました。子供たちにとって普段なかなか考えることのないテーマについて知ることができ、考え、学ぶことができた貴重な時間となりました。



先生が児童役となったロールプレイ



スライドを見る児童



かつてヤングケアラーだった方
からのお話

環状1号線の道路上で「お絵描きイベント」が行われました

11月19日（水）に、新たに開通予定である腰越地内の環状1号線の道路上に、小川高校美術部の生徒がデザインした下描きに、大河小学校の6年生がチョークで色塗りをしてくれました。

今回のイベントは、環状1号線の開通前に「開通する道路により親しみをもってもらおう」と小川町都市政策課が企画してくださいました。

小川高校生がデザインしたイラストは「自動車に乗ったコバトンとすたむちゃん」のマスコットキャラクターです。子供たちは、赤や紫、黄色のチョークを塗って仕上げるとともに、自分の将来の夢も絵で表現してくれました。これらの絵は舗装工事までブルーシートで覆い保護してくださいます。

子供たちからは、クラスの友達や高校生と協力して絵を描くことができ、楽しかった。良い思い出になりましたという感想が聞けました。



【写真は、小川高校の生徒と新たに開通する環状1号線の道路上に色塗りをする6年生】